

証券コード：6418



J'S REPORT

日本金銭機械株式会社
JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.

第60期 中間期 株主通信 平成24年4月1日～平成24年9月30日



拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに当社第60期中間期の株主通信をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当中間期における当社グループを取り巻く経営環境といたしましては、北米ゲーミング市場が、景気の回復基調を背景に好調に推移するとともに、国内でも、遊技場向機器市場、流通市場ともに堅調な動きを示しました。このような状況のもと、当社グループは、顧客のニーズを捉えた積極的な販売活動を展開するとともに、効率的かつ収益性の高い企業グループ体制の構築や、コア事業における

利益率の向上とコストダウンを推進し、安定的な収益基盤の確保に注力いたしました。その結果、売上高、利益ともに大幅な増加となりました(詳細は3頁の中間連結財務ハイライトをご覧ください)。

また、当社グループでは、従前より様々な検討を重ねてまいりました中期経営計画を、この度、新たに策定いたしました(概要は右頁のとおりであります)。当社グループを取り巻く経営環境は、国内外ともに景気の先行きは不透明であり、厳しい状況が続くものと思われませんが、グループが結束して課題に取り組み、この計画を達成すべく、鋭意努力を重ねてまいる所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬具

平成24年12月

代表取締役社長 上東 洋次郎

中期経営計画

2013年3月期~2015年3月期

これまでの重点課題

事業構造の再構築による収益力の改善

- ①国内・海外グループ再編によるグループ内事業の効率化
- ②事業拠点及び人員の集約化、並びに商流の変更による為替リスクの極小化
- ③コア事業(貨幣処理機器)を中心に、新製品及びシステム・テクノロジーの開発のための積極投資
- ④新製品による国内外大手OEMを中心とした取引の積極拡大
- ⑤コーポレート・ガバナンス体制の一層の強化

中期経営計画の概要

中期経営計画の位置づけ

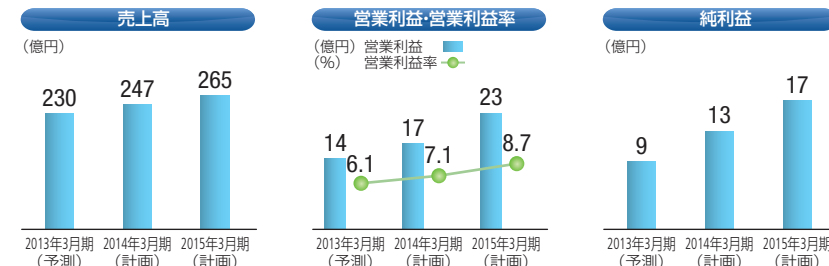
「貨幣流通において市場と価値を創造し続ける真のグローバル企業」

前期までの取り組みをさらに加速・継続しつつ、中期経営計画の目標達成に向けてグループが結集して取り組むことにより、顧客やシェアホルダーから支持され、発展し続けるグループとなる。

基本方針及び重点施策

- 1 貨幣処理機器分野において、新興国、未開拓市場への積極展開を図る。
- 2 グローバル市場規模において、これまでに培った北米、欧州市場でのゲーム機メーカー、顧客、また国内市場での大手OEM、ホール運営会社等との関係強化、さらには、新たなパートナーとの協力関係の構築を目指す。
- 3 新製品、新技術の開発、商品化のための積極投資を継続し、次世代の収益基盤を支える新たなビジネスの創出を目指す。
- 4 当社グループの事業内容、規模に適応し、かつ柔軟、迅速な事業展開が可能なグループ体制の再構築に向けた取り組みを加速させる。

■数値目標



セグメント別売上高 (億円)	2013年3月期 (予測)	2014年3月期 (計画)	2015年3月期 (計画)
日本金銭機械	26	29	36
遊技場向機器	92	90	94
北米地域	73	87	91
欧州地域	37	38	40
アジア地域	2	3	4
合計	230	247	265

■主要指数 設備投資額 (億円)

	2013年3月期 (予測)	2014年3月期 (計画)	2015年3月期 (計画)
設備投資額	14	15	15

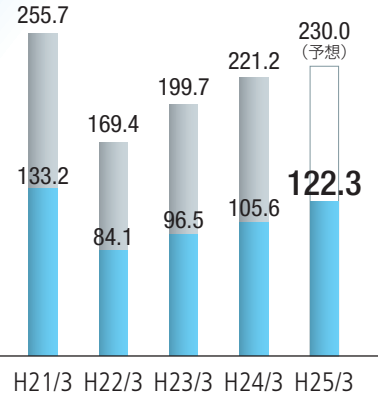


中間連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

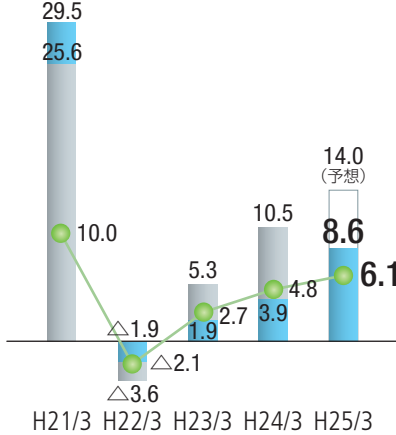
売上高

(億円) 通期 中間期



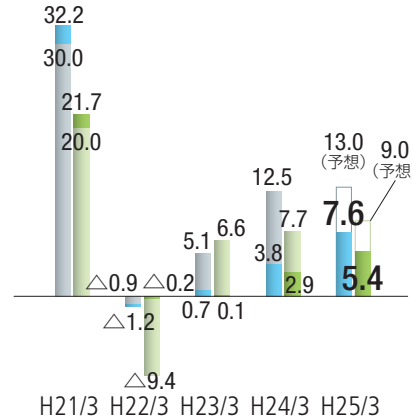
営業利益・営業利益率

(億円) 営業利益 通期 中間期
(%) 営業利益率 ●



経常利益・中間(当期)純利益

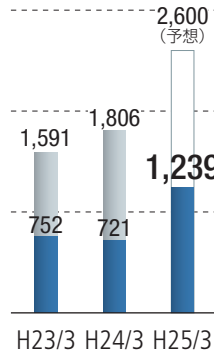
(億円) 経常利益 通期 中間期
中間(当期)純利益 通期 中間期



セグメント別売上高

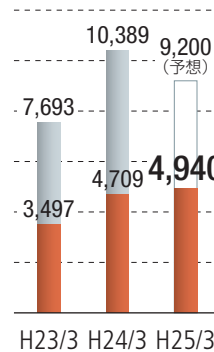
日本金銭機械

(単位:百万円) 通期 中間期



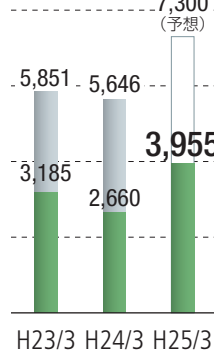
遊技場向機器事業

(単位:百万円) 通期 中間期



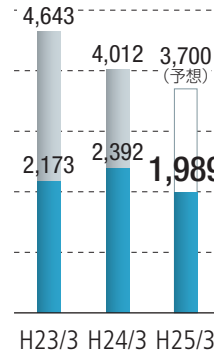
北米地域

(単位:百万円) 通期 中間期



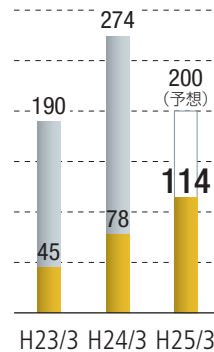
欧州地域

(単位:百万円) 通期 中間期



アジア地域

(単位:百万円) 通期 中間期



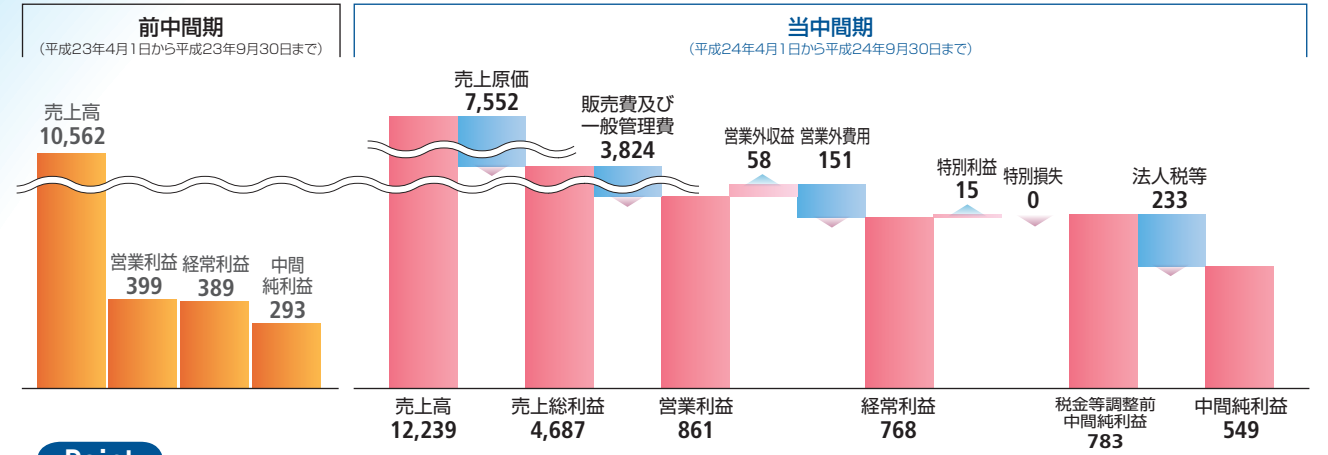
※本株主通信においては、第2四半期累計期間(6ヶ月)を便宜上、全て中間期と表示いたしております。



中間連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

中間連結損益計算書 (単位:百万円)

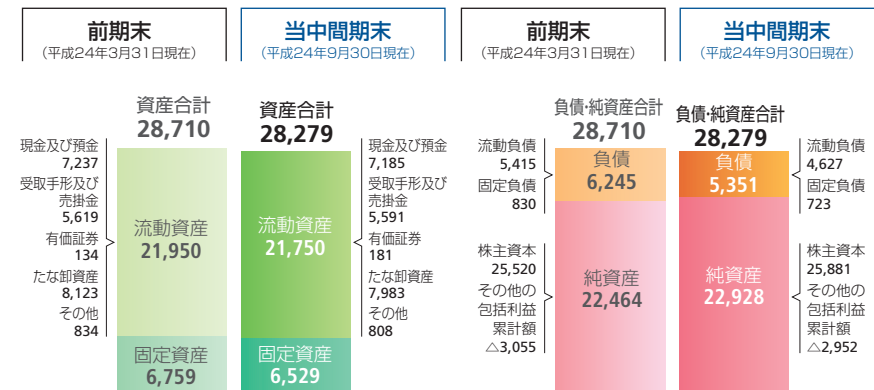


Point

売上高／営業利益／中間純利益

売上高は、北米地域の新規カジノにおける高い成約率の確保や、既存カジノにおける旧製品の入替需要の増加に加え、国内の遊技場向機器事業における設備機器需要の好調が持続したことにより、前年同期比15.9%増となりました。営業利益は、売上高の増加や事業構造の再構築によるコストダウンの効果もあり、前年同期比115.8%増となりました。また、為替差損等の営業外費用が発生しましたが、中間純利益は前年同期比87.2%増となりました。

中間連結貸借対照表 (単位:百万円)



Point

資産

たな卸資産については、この数年間での現金及び預金の減少要因となっておりますが、大規模な自然災害や海外生産におけるカントリーリスクなどが生じても、当社からお客様への供給は絶対に止めないという方針のもと、適切な保有高を維持するように努めております。また、現金残高の減少も続いておりましたが、たな卸資産などの運転資本の平準化も進むものと考えており、期末には増加に転じると予想しております。



トピックス

Topics

TOPICS 1

アジア市場開拓に向けた画期的な新製品の投入

飛躍的な拡大の続くアジアのカジノ市場向けにテーブルゲーム用の新製品を投入します。製品名は「iV8」。この製品は、ディーラーが顧客から預かった紙幣の収納時間を短縮し、カジノの稼働率を向上することに加え、ディーラーによる紙幣の抜き取りなどの不正を防止します。また、無線自動識別（RFID）タグを使用した情報分析機能により、人気のあるテーブルゲームを容易に把握し、効率的なテーブルの配置を可能にするなど、これまでのカジノ運営を大きく変えるものになっています。既に各地のショーでも大きな評判を得ている本製品は、2013年からの販売を予定しております。



TOPICS 2

ラスベガスのショーでも注目を浴びた次世代製品の開発と事業化

毎年米国ラスベガスで開催されるG2E（Global Gaming Expo）ショーにて、今年一際注目を浴びたのは、当社の米国法人JCM American Corporationが、日本のシステム開発会社や、カナダのカジノ用ATMメーカーと共同出展したカジノ向けの決済システムでした。これまでの現金決済を前提とした支払いシステムではなく、スマートフォンの近距離無線通信技術NFCを利用して、スロットマシンの利用を含めカジノホテル内の決済をすべて電子マネーで行うものです。これまで培ってきたゲーミングビジネスに先進技術を積極的に取り込み、従来の紙幣識別メーカーの枠に収まることなく、革新的な事業展開を行ってまいります。



会社概要・株式の状況 （平成24年9月30日現在）

Corporate Profile & Stock Information

会社概要

商号	日本金銭機械株式会社 JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.
設立	昭和30年(1955年)1月11日
本社	大阪市平野区西脇2丁目3番15号
東京本社	東京都中央区東日本橋2丁目23番2号
資本金	2,216,945千円
当社グループ拠点	(国内主要営業拠点) 大阪、東京、札幌、仙台、金沢、静岡、名古屋、広島、高松、福岡、鹿児島 (海外主要営業拠点) ラスベガス(米国)、デュッセルドルフ(ドイツ)、シドニー(豪州)、ミルトンキーンス(英国)、マカオ(中国)、深圳(中国) (研究開発拠点) 大阪、東京、バンコク(タイ) (生産拠点) 長浜、広島、香港(中国)、深圳(中国)

株式の状況

発行可能株式総数	118,000,000株
発行済株式の総数	29,662,851株
単元株式数	100株
株主数	15,794名

大株主(上位10名)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
上東興産株式会社	4,661	17.28
上東宏一郎	2,707	10.03
上東洋次郎	1,458	5.40
株式会社マースエンジニアリング	1,000	3.71
上東保	874	3.24
株式会社りそな銀行	629	2.33
株式会社三井住友銀行	503	1.87
株式会社ヤマオカ	500	1.85
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	463	1.72
日本生命保険相互会社	424	1.57

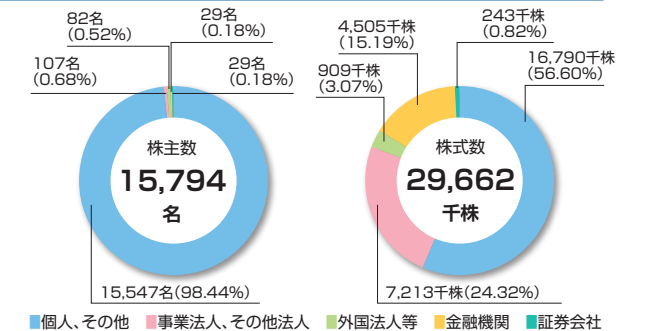
注) 上記のほか、自己株式が2,682千株あります。
なお、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

役員

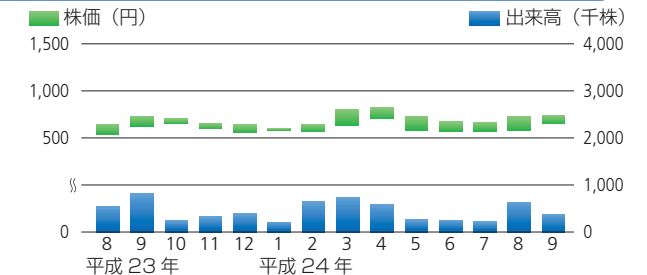
取締役会長	上東 宏一郎	取締役	寺岡 路正
代表取締役社長	上東 洋次郎	取締役	山澤 茂
常務取締役	北森 壽住	取締役	高垣 豪
常務取締役	牧 比佐史	取締役	吉村 泰彦
取締役上席執行役員	川瀬 和人	取締役	佐藤 浩
取締役上席執行役員	磯井 昭良	取締役	中谷 謙人
取締役上席執行役員	伊澤 輝	取締役	井内 良洋
取締役上席執行役員	鳴尾 英治	取締役	中尾 晴昭
常勤監査役	中村 泰三	取締役	岩井 一郎
常勤監査役	田村 幸夫		
監査役	小泉 英之※		
監査役	森本 宏※		

※は、会社法第2条第16号及び第335条第3項に定める社外監査役であります。

株式分布状況



株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の照会先にご連絡ください。

単元株式数	100株
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417 (受付時間 平日9時～17時)
(インターネットホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

＜※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。＞
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
☎ 0120-782-031

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の照会先をお願いいたします。

公告方法	電子公告により行う。ただし、電子公告によること ができない事故、その他やむを得ない事由が生じた ときは、日本経済新聞に掲載して行う。 (公告掲載URL) http://www.jcm-hq.co.jp/
上場証券取引所	東京・大阪両証券取引所 市場第1部
証券コード	6418

IR情報満載のJCMホームページを ご活用ください。

株主の皆様に向けて、最新のIR情報をタイムリーに発信しているJCMホームページ。プレスリリースや決算短信、決算説明会資料、有価証券報告書など、ご参考となるデータを満載しています。また、資料のご請求やお問い合わせなどについてもお気軽にご活用ください。



<http://www.jcm-hq.co.jp/>



日本金銭機械株式会社
JAPAN CASH MACHINE CO., LTD.

〒547-0035 大阪市平野区西脇2丁目3番15号
(お問い合わせ先)広報・IR室 TEL(06)6703-8400